

よいことのために手をとりあおう

2025～26年度 国際ロータリー会長メッセージ

▶例会日：第1・第3木曜日（12：30）
その他の木曜日（18：30～19：30）
▶例会場：白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河
▶事務局：〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5
（白河商工会議所内） ☎23-3101 FAX22-1300

ホームページURL <https://shirakawa-west-rc.jp>
メールアドレス yoshida@shirakawa-cci.or.jp
facebook <https://www.facebook.com/ShirakawaWestRotaryClub/>

会長 藤田 龍文
幹事 運天 直人

創立1986年

白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

第1866回例会 | 令和7年8月28日
18:30～19:30



創立40周年

○ソング

- 奉仕の理想

○ビジター

- 富岡RC 西山由美子様
- 大竹佑花理様

○スマイルBOX

- 富岡RC 西山由美子様（今日は卓話の機会をいただきありがとうございます。お世話になります。）
- 藤田龍文会長（本日は西山様、卓話ありがとうございました。CKB参加の会員の皆様、ご協力ありがとうございました。地区各種セミナー参加の皆様も大変ありがとうございました。）
- 運天直人幹事（西山様本日は卓話ありがとうございます。当クラブも女性会員増員のご参考になりました。）
- 山縣栄寿会員（今日もスマイルさせていただきます。スマイル・スマイル・スマイル）
- 高島裕会員（先日の母親の葬儀に際しクラブの皆様には大変お世話になり感謝申し上げます。）
- 成井正之会員（今週の大谷スマイルは8/25の45号だけでしたが、今日は749日ぶりの投手としての一勝をあげました。まさに超人的活躍です。）
- 居川孝男会員（西山委員長卓話ありがとうございます御座いました。先日お伝えしたメンバー全員に参加していただき、ホームミーティングが無事終了しました。）
- 永野文雄会員（ゲストの西山久美子様、大竹佑花理様ようこそおいで下さいました。卓話ありがとうございます。）
- 金田昇会員（西山委員長来訪ありがとうございます。大竹佑花理さん入会お待ちしております。本日藤田記念館にて松平定信墨筆展を観てきました。素晴らしいです。みなさまぜひ。）

▶第1866回例会出席状況

(R7年8月28日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	54名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	18名
Ⓘ 全正会員数	72名
Ⓒ Ⓐの出席者数	24名
Ⓓ Ⓐのメイクアップ者数	0名
Ⓔ Ⓑの出席者数	12名
Ⓖ = Ⓒ + Ⓓ + Ⓔ (メイクアップ補填後の出席会員数)	36名
Ⓗ = Ⓘ - (Ⓑ - Ⓔ)	66
Ⓙ = Ⓖ / Ⓗ × 100 (例会出席率)	54.5%

8月28日 ～本日のメニュー～



- ・キャベツのお浸し
- ・梅おかか和え
- ・肉じゃが
- ・チンジャオロース
- ・杏仁豆腐
- ・白飯
- ・若布と玉子のスープ
- ・香の物

本日のプログラム

■会長の時間

藤田龍文会長



皆さん、こんばんは。やっとここ数日でしょか。朝夕が少しだけ涼しく感じるようになってきました。私、毎朝4時5時に散歩をして歩くんですが、気温を見ると白河市内今日25度ぐらいだったんです。それでもやはり涼しく感じてしまうと。日中の暑さがやはり30度越えになると、それでも涼しくなってしまう、秋の気配を感じるような今日この頃になってきました。先日は、当クラブの大変大きい事業としてCKB県南チャレンジベースボールフェスティバルを8月23、24日まで。泉崎のほうで無事開催することができました。昨年と、結構2〜3割の確率でこの時期ですと雷だったり暴風雨だったりということで、二日間の大会が出来ないこともあったんですが、おかげさまで今年は二日間出来ました。ただ、劇的な猛暑過ぎて、子供達や父兄も含めて皆さん真っ黒になりながら、二日間の熱い戦いが行われました。CKB、この界隈の中学生のちょうど新人戦、3年生が引退して2年生、1年生の新チームで初めての大きい大会ということで、かれこれ12年続いておりますが、実は子供たちにとっても大変重要な新チームでこれだけのチーム数が集まる大会というのは初なものですから大変力を入れる大会で、参加チーム減ったとはいえ今回20チーム。そして、選手だけで366名。そして、父兄もマンツーマンばりに来ます。約500人くらいの方達がその二日間お集まりいただいて熱い熱戦を繰り広げました。ここ数年、どうしてもお客様で来る逗子開成中学と湘南学院です。神奈川の交流しているチームが大体優勝を持ってくパターンが多かったり、あとは石川義塾がどうしてもやはり野球に特化してるということで優勝するところが多いんですが今年は、本当に久しぶりに優勝が金田ガバナエレクトのお孫さんもいらっしゃる白河第二中学校がコールドで優勝いたしました。そして、準優勝が矢吹中学校ということで、久々にこの県南地域の中学校が優勝、準優勝を飾ったということで、大変熱い大会を終了することができました。そして、逗子開成と湘南学院って多分震災の時の復興の支援ということで、その二校がこの県南地域の野球チームに混ざるようになったんですが、逗子開成はもう皆さんお聞きになってるとおり、もう関東地方の神奈川の、約250校ぐらいいる中学校のトップ10ぐらいに入る超進学校です。もう中高一貫ですので、逗子開成高校からは東京大学にはもうおそらく40〜50人くらいは入るのかな。早稲田慶応はもう100人単位で入るようなとても有名な進学校なんですけど、そこも文武両道ということでスポーツも大変力を入れてやってらっしゃる中高ですね。その方達は一泊二日ということで、毎年泉崎のサイクルセンターというか、私たちがよく納涼例会で使うバーベキューの会場で一泊して、夜はバーベキューという

ことでそちらもやっぱり数えてきましたけど、生徒が75名、父兄130名ということで大変バーベキュー会場パンパンなぐらいに大変夜は盛り上がり子供達が交流を図ったという場面で、私共も何人かでご挨拶に毎年ロータリーでも行くんですが、今年はある父兄がお酒を持ってこう挨拶に来ていただきまして、何でしょうかという話になりましたら、私ロータリアンなんですという話を初めていただきました。あっそうなんですかと。お子さんは逗子開成に通わせて文武両道で精神の鍛練も含めて野球部に入れてると。その職業分類を見ると、その方は公認会計士でネットで調べてみると相当大きい税理士会社を運営されてる方で、そのクラブがちょっとなかなか聞いた事のない3年前に創設されたばかりのロータリークラブだということで、後でネットで皆さん調べていただければと思います。インベーションゲートウェイ湘南ロータリークラブというちょっとしゃれた名前のこの辺では見かけないロータリークラブで、会員数は20人ぐらいだそうですがこの辺では珍しく、意図的に藤沢市と鎌倉市を2市をまたいで作る、しかもまちづくりだけに特化したロータリークラブだということで、大変珍しいクラブでございます。それでよくよく調べてみますとちょうど藤沢市と鎌倉市の間に数年後に都市計画の関係でとても大きい私鉄の駅が出来るそうなんです。その駅の完成に向けてその周りのまちづくりということだけに特化したクラブだそうです。例会も月2回くらいでズームだったりして、職業分類も中にはそういうまちづくりの特化した人しか本当になくて、なんと9年後に解散してしまうという、駅が出来たら解散しちゃうんだそうです。その目的に特化して、そこに新しい町が出来たら、また独自のロータリークラブをそこでまた設立をするということで、私どもの姉妹ロータリークラブも深谷ノースロータリークラブさんなんか国際交流に特化してるというようなクラブさんもあるように、そういったクラブもこれからはあってもいいのかなと。これからクラブがどんどん減ってく中で、そういった目的に特化したクラブというのも一つ面白い生き延びる手法かなと思います。すいません、大変前置きが長くなりましたが、本日お客様2名いらっしゃっておりますのでご紹介させていただきたいと思ひます。まず初めに、富岡ロータリークラブからいらっしゃいました本日の卓話をいただきます西山由美子さんです。それではもう一方、「大竹運送株式会社」の取締役であります、皆さん顔馴染みの方も沢山いらっしゃいます大竹佑花理さんです。西山さんは今日卓話いただきますし、担当委員長のほうから後程プロフィールのご紹介あります。そして、西山さんが今日一緒に連れて来ていただいた大竹佑花理さんはですね、大信で事業所とご自宅もありますし、なんとですね大竹佑花理さんは白河西ロータリークラブの交換留学でアメリカにも行ってたということで、当時さっきちょっとお話させていただいたんですが、石田さんがいる頃と言ったか、石田捷一さんが会長かそのぐらいの時にやはり交換留学に行かれてた経験をお持ちでいらっしゃいます。是非、昨年も、交

換留学生に行った方が社会人になられて社会貢献したいということで1名当クラブに入会した方もいらっしゃいますので是非、この機会ですからお二人目を迎えてもよろしいと思いませんか、皆さん。ありがとうございます。理事会を越して、ほぼ全会員の総会ばりの承認もいただきましたので是非、大竹佑花理さん、こういった所に来ていただいたのも一つのご縁ですので、新たなまた奉仕の世界を見ていただければと思います。それでは、本日西山さんの卓話でございますので、よろしくお願いたします。

■幹事報告

運天直人幹事

○国際ロータリー日本事務局クラブ・地区支援室:第1回クラブ・地区支援室メッセージ

○ガバナー 泉田征慶:地区役員・委員会の転送メールおよび連絡先一覧送付の件

○公益財団法人ロータリー米山記念奨学館「奨学生・学友証明書」送付のお知らせ

○米山梅吉記念館理事長 松村友吉:賛助会ご入会のお願

○地区ロータリー財団委員 長林克重:地区補助金申請クラブ 振り込みの案内

○地区ロータリー財団委員 内藤義久:白河市国際交流協会会報 vol.29

○白河赤十字奉仕団 委員長 安澤荘一:令和7年度白河市赤十字奉仕団連絡協議会視察研修の実施について

○東白川ロータリークラブ:2025-26年度 年次計画書・報告書の送付について

●高島裕会員



皆さん、こんばんは。個人的なことで大変申し訳ございません。先日の、母親の葬儀に、ご多用にも関わらずクラブの皆さんからお手伝いをいただきそしてご厚誼を賜りましたこと、この場を借りて厚く御礼申し上げます。これからも母親を思いながら一生懸命ロータリー活動邁進していきたいと思っておりますので、どうぞ今後ともよろしくお願いたします。ありがとうございました。

■本日のプログラム

会員増強委員会担当例会

●会員増強委員会

渡辺道直委員長

皆様、こんばんは。わたくし会員増強委員会委員長の渡辺です。ご承知のとおり、今月8月の月間テーマは会員増強月間となっております。そこで会員増強がもたらすクラブ活性化の方向性と可能性、皆さんに改めて感じていただくために、それを目的として今回の担当例会にご存じの方も多くいらっしゃるかと思います。地区の会員増強委員会委員長の西山由美子様にお越しいただきました。お話をいただく前に簡

単ではございますが西山様のプロフィールをご紹介させていただきますと思います。西山様は富岡ロータリークラブに所属し、今年度地区の会員増強並びにDEI委員会委員長を務めております。セミナー講師などでご活躍されております。また、ご職業は本社を富岡に構え、建設業、貨物運送業、廃棄物収集運搬処理、各種建設機械リースなど多様な職種を扱う「株式会社丸東」の代表取締役をされ幅広くご活躍されております。それでは西山様、よろしくお願いたします。

●2025-26年度国際ロータリー第2530地区

会員増強・DEI委員会委員長

西山由美子様



ありがとうございます。丁寧なご紹介を本当にありがとうございます。改めまして、白河西ロータリークラブの皆様、こんばんは。本日はプロフィールの4段目にもございます福島県トラック協会女性部会、わたくし部会長を拝命しております、そこで私

をしっかり支えてくださっている大竹佑花理さんと一緒にお邪魔しております。皆様、どうぞご縁があるようでどうぞよろしくお願いたします。わたくしはRI2530地区会員増強・DEI委員会委員長の西山由美子と申します。ご紹介いただきましたように、富岡ロータリークラブ所属、ご覧の建設業だつたりを生業としております。皆さんご存じのあの震災と原発事故を経験した富岡町で、地域と共に歩んできた経験をロータリーに生かしていきたいと考えております。ここ数年卓話という、テーマとしてこの富岡町、富岡ロータリークラブの会員増強の成功事例をテーマにして結構気楽になんてでしょうか。本当に気楽に本音でお話をさせていただいておりますけれども今日は、地区の委員会委員長としてのお役目もございますのでちょっと素敵な夜の時間に申し訳ないんですけども、数字を交えましたちょっと堅い話をさせていただきたいと思っておりますので、しばらくお付き合いいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。それでは早速、会員増強とクラブ活性化、白河西ロータリークラブ版ということで、ご覧の4つの項目についてお話をしたいんですけども、この資料全部で36ページくらいあるので2つくらいに絞ってお話させていただきます。初めに、2025-26年度地区会員増強・DEI委員会の方針です。今年度、フランチェスコ・アレッツォRI会長のメッセージ「よいことのために手を取り合おう」非常にシンプルで簡潔なメッセージですけども、この辺りは皆さんのクラブのガバナー公式訪問は来月9月18日とお聞きしておりますので、この辺りはガバナーからお話があるかと思っておりますので、進めてまいります。そして、このRI会長のメッセージによって泉田征慶ガバナーは今年度の目標をまとめられました。当委員会の目標です。皆さんのクラブと一体となって会員増強とDEIの理解のために行動していきたいと思っております。ご覧いただいているのは今年度の目標なんですけれども、持続性、継続性と

いうことから昨年同様8%の会員の純増と退会防止を進めてまいります。今年度のスタートは会員数2093名からのスタートですので、その8%という具体的なには167名の純増目標ということになります。そして女性会員数、実は昨年一年で10名程増えまして196名。現状、女性比率は9.36%。目標が10%ですので、数字だけを見るとあと少しといったところでしょうか。ところが、女性会員がゼロというクラブが地区59クラブの中に9クラブもあります。女性ゼロクラブ、現状では地区15.2%ということになります。女性ゼロクラブの目標がゼロなので、この辺はかなり難しい課題かなと感じております。更に、女性会員がたった一人しかいないというクラブをここに加えて考えると、地区の全体の30%のクラブにおいて女性会員が全くないか一人しかいないというこんな感じが地区の現状ということになります。この30%にはもちろん皆さんのクラブは入っていませんけれども、ちょっと問題があるのはこの皆さんの県南分区の中には5つのクラブがゼロ会員、一人かというクラブ。それもなかなか分区で5つのクラブで女性がいなくて一人かというのは、ちょっと難しい課題かなと考えております。会員増強と退会防止の意義です。会長、幹事、会員増強委員長が頑張っていて頑張っていて新会員を増やすことができました。だとしても、年齢とか身体的理由、そして経済的理由などやむを得ず退会しなければいけないという会員が増えてしまうと、結果として会員減少。クラブは運営の資金不足に陥り、いろいろな活動においても人数が足りない、一人何役もという事にもあり得ます。更には、地区研修協議会、セミナーなどに出席ができなくなると、どうしても活動自体が不十分になりかねません。そして、このこと自体が更なる会員減少の原因となる可能性もあるわけです。会員増強の成功の重要な鍵って、やはり退会防止にあるということです。こちらは2023-24年度の入会退会の傾向をグラフにしたものです。このグラフから皆さんに読み解いていただきたいポイントというのは、7月から11月までの前半、純増44名で推移しておりましたけれども、12月、3月、6月と見ていただくとわかるように150名もの退会者が出ております。この年は結果、純減41名という結果で終わりました。ではこれが昨年の実績がこちらです。昨年も今年度同様8%170名の純増を目標に活動しておりました。一年を通してみると8%の170名を今はるかに超える185名もの増強に成功しております。にも拘らず、終わってみたら純減33名という結果になってしまったんですけれども、その最大の要因、やはり12月、3月、6月で140名が退会。退会者全体の65%がこの月に集中してしまってるんです。私も会員増強の副委員長をしております、5月の末まで結果聞いてたら、結構今年いけるかな純減じゃなくもちろん純増かなと思ってたんですけれども、最終月6月に一気にガラッと変わってしまいました。一気に減ってしましまして退会者が増えまして、純減33名という結果になってしまいました。でも皆さん、この昨年度の入会者数185名って私とっても素晴らしい数字だと思っております。だから、新会員

候補者自体は減ってはいない、毎年増えてるんじゃないかと。候補者になり得る方は増えてるんじゃないかと感じております。ただ一方で、退会者218名となると純減33名という結果になってしまいましたけれども、どうでしょうか、皆さんのクラブではこういった傾向が見られますでしょうか。もし、毎年同じような傾向にあるとするならば、傾向に対して対策です。退会者を最小限に食い止めるための行動が必要です。例えばイベントを重点的におこなうとか、衛星クラブを結成するとか、いろいろございます。方法は沢山あります。やむを得ない理由による退会者を想定した会員増強計画をきっちり立てて、その計画を実行すること。まさにこれに尽きると感じております。このままこの傾向を放置すると、退会者の見込み数の約2倍以上の増強が必要となってしまいます。特に退会が多いとされる入会3年未満の新会員の皆さんに向けては、ロータリーの帰属意識を高めるために十分な理解をロータリーの理解浸透をおこない、一体感、仲間意識を早い段階で共有するようになるべきだと思っています。これが現会員である私たちの責務でもあり、退会防止のための行動って継続的に早急におこなう必要があると思います。ここで突然ですけれども、本当はここで皆さんとクラブの傾向をグラフにしたかったんですけど、ちょっと情報不足で申し訳ありません。ここは多分、皆さんの会員増強委員長にお任せをすることで、白河西ロータリークラブさんの概要から会員数を見てみました。初月から1名入会されたということで72名、女性会員が9名。女性比率12.5%。平均年齢を見ましたら地区全体から比べても若い方が多いということがわかります。泉田ガバナーの目標もう既に達成されてると言っても過言ではないと思います。ですから、やっぱりクラブの活性化においても大いに期待されますし、さすがガバナーを輩出するクラブといった印象です。更に40周年、おめでとうございませうということですが、水を差すようですけども富岡ロータリークラブの経験値から言うと、50周年の時に結構な人数が退会してしまったんです。やはりこの周年事業を迎えるにあたり、一区切り周年が終わったらかっていうそういうお考えの会員さんもおいでになることもあったりするので、ここは会員維持のために引き続き努力を重ねていただきたいと思います。これはロータリークラブの会員基盤構築プロセス。流動的ではありますが、多くの場合においてこのような段階を踏みます。私はこれら1から7までがすべてが会員が会員を呼ぶ好循環。まさに会員増強のいろはのいだと確信しております。すべてのステップを丁寧におこなうことが大切なんですけれども、私最近幾つかのクラブにメーキャップをして考えたことなんですけれども、1のですね探し出すですけど、新会員を慎重に選ぶ事ってとても大切なことです。会員維持率も高めます。でも、慎重すぎて候補者のハードルがやたら高くなったりしてませんか。人を温かく迎え入れて育み育てるということも、私達ロータリアンの責務でもあります。例えばですね、うちのクラブのチャーターメンバーになるんで

すね、候補者について話したりしたら90何歳なんですけど、どこの誰ともわかんないのは駄目だってこうなってしまうですね。なので、富岡ロータリークラブの場合は例を挙げると入会候補者リストの作成に関わるメンバー、つまり会員増強委員会のメンバーは若手で友達が沢山いそうな性格の明るいメンバーに限りました。探し出す行動ってなかなか難しいんですけども、やはり広い人脈と広い心が重要だと思っております。それと、探し出すというところでもう一つ。クラブ名に地名が入ってるクラブが非常に多いんですけども、この地名とか地名やテリトリーをあまりに強く意識するあまりに、広い視野、広い地域の中で探し出すという考えがどうしてもある地域、あるエリアと狭く小さくなっているということをもう一度振り返ってお考えいただければと思います。そして、次に3番目の入会を勧めるというところなんですけど、会員増強委員会では7月5日に郡山でセミナーを開きました。その時のアンケートの結果で、オープンキャンパスならぬオープン例会と衛星クラブについての言及が目立ちました。意見とか質問とかも一番多かったですね。その実績からオープン例会って大いに効果が期待されております。詳しくこの後オープン例会についてお話したいと思うんですが、この以上7つのステップ、会員基盤構築のプロセス丁寧に進めていくことが大切です。では、今申し上げました効果の期待される戦略的オープン例会ポイント10を挙げてみました。オープン例会、白河西さんはやられてるのでしょうか。まだですか。これ実は私もメーキャップしてあるクラブは今年度10人入れるんだって会長が仰るんですけども、なんでそんなに自信持って言えるのって言ったら、11月ぐらいに14名ぐらいお招きしてオープン例会を予定すると。そこで絶対10名増えるんだって確信しておられました。まず、では戦略的なポイント10を挙げていきます。まず初めに、招待状を出しましょう。ゲストを招く時は口頭とか電話ではなく、ちょっと手の込んだ素敵な招待状を出しましょう。過去に入会を断られた方、元会員を再度招く場合でも招待状を出しましょう。次に、ゲストのお名前、プロフィールは事前に会員全員で共有しておきましょう。役割分担なんですけれども、ゲストをお招きした時、ゲストを紹介者にだけに任せず全員で歓迎しましょう。ゲストのテーブルには会報や『ロータリーの友』を置く事をお忘れなく。4番目、ゲストに声をかける時、あなたってという声掛けじゃなく必ず〇〇さんってお名前と呼んでさし上げましょう。過去にゲストに対して「君は誰だ。」と言った聞いたベテラン会員さんがいたそうです。5番目、明るい対応と名刺交換。この辺は皆さん、大の得意だと思います。そして6、ゲストの疎外感をなくすため、座席の配置に工夫をしてさし上げてください。次に、ゲストも楽しめる卓話を計画しましょう。8番目、ゲストにマイクを持っていただいて自己紹介をしてもらう。そうすると、場が和み会員との距離がグッと縮まることもございます。9番目、資料や動画を活用したロータリーの紹介は欠かせません。最後に、例会が終わってもしっかりとフォローアップをしましょう。以上が、戦

略的オープン例会のポイントです。大切なことは、このオープン例会来月やります再来月やりますではなく、ちょっと先に予定をして、そしてその目標に向けて皆で声を掛け合って参加者を増やすことを目指して開催されればいいと思います。かなりの効果が期待されると聞いております。ここから高崎ロータリークラブ、田中久雄先生に学ぶ会員増強の手法なんですけど、これはもうここは地区大会の一日目でも後援もございました。私も二度ほど先生のお話聞きました。『ロータリーに入ろう』というこの本読まれた方、クラブに何人いらっしゃいますでしょうか。会長は、まだ。会員増強委員長は、まだですか。では今日は進呈しますので、どうぞお読みいただきたいと思います。この本の内容がここからずっとあれなんですけども、ここ進めてまいります。これらの手法を大いに参考にしてというより、このAからDまでそっくり真似をして14名の会員増強に成功したクラブというのがわたくしの富岡ロータリークラブなんです。是非、本を読んで具体的にご理解いただいて、できることからやっていただきたいと思います。こちらは田中久雄先生の全国のクラブを回って気付いた多くのクラブが抱える共通の問題点です。ここに4つの問題点がございまして、シニア会員が自覚すべきところを正しく認識していない。新会員へのフォローが不足している。その年の会長、幹事のやる気がない。そして最後、この4番目、若手や女性を入れられない。白河西さんの場合はこのような問題はないと思いますが、多くの場合においてここかなり問題なので、ここからあとはこの後の資料はちょっとそれを機に作られておりますので、ちょっとご覧いただければと思います。と言ったところから、会員増強に向けた女性の重要性ということで、DEIの話なんですけれども、ここもちょっと時間の都合上進めてまいりたいと思います。これはですね、世界と日本の会員数の推移なんですけど、1989年の翌年ですね、規定審議会で女性の入会が認められました。その翌年、約2万人の女性会員が誕生しました。以来、世界ロータリーは120万人を行ったり来たりしてるんですけども、ご覧のように男性会員の減少を女性会員の増加が補うことで会員数を維持しております。一方で日本では、同じ年に425人の女性の会員が誕生しましたが、その後の女性会員の増加がいまいち伸びず、女性会員全体が減少してきております。世界と比較しても日本ロータリーの課題はこの女性の少なさというところにあるということが明らかに示されております。こちらは女性が活躍することによっての効果を挙げてみました。社会的評価としてはもはやジェンダー平等は重要な項目になっていて、女性比率の高い組織は社会的なイメージが良いというのは皆さんもよくご存じかと思えます。そして今、全業種において大変人手不足ということが問題になっておりますけれども、女性の労働力を活用することでその解消にも繋がっています。そして、女性ニーズへの対応には女性目線が大変重要になっていることもはっきりしております。その結果として、女性比率が高いほど企業の業績が良いというデータも

出ておりますので、女性はしっかり多様な場面で企業組織や社会に貢献できると考えられます。では、経済界ではどうでしょうか。これも女性比率30%が主流となってきておまして、世界を見た時にはもうとくに2010年、一番左側の30%クラブというのはイギリスから始められた企業の意思決定機会において女性30%以上にしようというグローバルキャンペーンのロゴです。日本でもグローバルキャンペーンではなくて、30パーセントクラブジャパンとして既に活動しております。あと5年の間に女性を30%以上にしようという活動なんです。最近ではフジテレビ、様々な問題を抱えているフジテレビの新役員体制が、役員22名のうち36%が女性役員に変えられました。では、ロータリークラブはどうでしょうかという、2023年女性初のRI会長、ジェニファー・ジョーンズ氏の就任スピーチでも女性会員比率30%ということを目標に発表しております。それ以来、世界217か国中128か国で女性比率20%が達成されております。これは今年の4月の国別データなんですけど、横軸は右に行くほど女性が多いことを示していて、縦軸上に行くほど会員数が多いことを示しております。日本は8.2%なので、30%には程遠い所にポツンといる感じです。これをランキング形式にしたのはこれなんですけど、会員数では世界ランキング3位。でも、女性比率ではワースト3位という実に情けない結果になっております。これが現状です。実は今年の1月19日に来日された辞任をいたしましたけれども、当時のRI会長の祖国ブラジルでは女性比率31%。イスラム教国のエジプトでも51%もいってるんですね。そして、白河西さんにも女性議員の先生がいらっしゃいますけれども、女性参政権から80年も経っているというのに、日本の国会議員の女性比率って皆さん何パーセントぐらいだと思いますか。結構目立ってる方もいると思うんですけど、1パーセント。だったら凄いです、16パーセントです。ですが、世界ではもう30%とくに超えてて、北欧では特に50%超えてます。EUの委員長も女性ですね。よくBSとか見てるとよくわかると思います。非常に女性比率が高いです。日本はこうやって世界に大きく遅れを取っております。これは地区の会員数2001年からゆるい右肩下がり、約25%減少してきております。地区の会員数回復のためだけではありません。せめて会員数を維持するためにも、女性比率を上げていく必要性少しご理解いただけましたでしょうか。ここで既に国内のロータリアンである女性たちがどう思っているのか、そのアンケートの結果をご紹介します。これは入会前のロータリーのイメージを聞いたアンケートの回答なんですけど、言及が多いほど文字が大きいということになっています。社会貢献、敷居が高い、国際的、男性社会といろいろ出ております。では、女性にとってロータリークラブの入会はハードルが高いと思うことがありますかという質問に対して、結果は53%。半分以上の方は、はいハードルが高いと答えております。でも、所属するロータリークラブには満足していますかという質問には、とても満足していると満足しているを

足すと69%。約7割の方が満足していると答えているので、ハードルは高いんだけど入ってみたら意外に楽しい、満足とそんな声が聞こえてきそうな気がします。決してロータリークラブに不満があるから女性が増えないんだというわけではありません。では、女性の入会のハードルを高くしている要素はなんだと思いますかと尋ねると、ご覧のように幾つかありますけれども、56%男性中心であることというふうに回答されております。更に、女性がいたほうが入会しやすいですかと聞くと、はい女性がいたほうが入会しやすいという答えが67%ありました。私も富岡ロータリークラブに入った時には、女性会員から誘われて入ったんですけども、既にお二人いらっしゃったので私自身はハードルとかそういう事は感じたことがないんですけども、女性の多くは私のように誰か会社とか家族、地域の先輩に勧められて、誰かの紹介によって入会することが多いんですけども、その入会した時、女性がいましたかという質問ですね、これ。そしたら、既に女性会員いましたと答えたのは79%。8割の方が入会時、クラブに女性会員がいましたと回答しています。以上のようなアンケート結果から、高いハードルをクリアするために、高いハードル男性中心であるというハードルでした。これを何とかするために女性会員の存在の大きいということ、おわかりいただけましたでしょうか。特に、新会員候補の女性が入会を勧められた時、入会を迷っている時、もう既にそのクラブに女性がいらっしゃるかわからないかが大きな問題であり助けにもなるということです。これはもうゼロクラブ、女性がゼロというクラブ向けなんですけど、一人目の女性会員の存在がとても重要です。ゼロクラブゼロ、そして一人だけというクラブもお二人、三人と増えることをわたくしは願っております。この女性会員の重要性、ご理解いただけましたでしょうか。皆さんのクラブのように既に沢山の女性会員がおられて、活発に活動されているクラブもありますけれども、泉田ガバナーの目標は8%の純増と女性会員比率10%、女性会員ゼロクラブゼロです。2024年から見ると10人程増えております。地区全体としては本当にもう少しです。白河西ロータリークラブの皆様、どうか泉田ガバナーの目標達成の為にもご協力いただけますけれども、次年度への渡すバトンの為にも是非更なるご協力をお願いしたいと思います。実は私こうして会員増強委員会として卓話なんて前にこうやって立っておりますけれども、地区への出向のきっかけをくださったのが石黒パストガバナーなんですけれども、石黒年度に私会長をしておりました。その時は9人入れて5人退会して4人だけの純増で終わってしまったんですけども、やっぱりこれも予期せぬ事故とか、予期せぬ病気とか、お若いのに亡くなっちゃったとかってなんか不幸が重なってしまって純増4名で終わったんですが、でも私実感として9人の入会者がいたからこそ、今もあるし何とか繋げたんだなと思っております。だから、やっぱり会員増強は止めてはいけない活動だと思えます。その年は、石黒ガバナーの年って相双分区の6クラブあ

るんですけど3人が女性会長、幹事が女性会員一人いて、会長幹事会開くと女性比率、そればかり言ってますけど34%だったんです。更に、中央分区では女性ガバナーが一人いて、更にいわきに亡くなってしまったんですけど、物凄いパワフルな女性会長、内郷ロータリークラブに鈴木礼子さんという方がいらっちゃって、この方々皆さんが女性が素晴らしい活躍をされ、素晴らしい結果を残されました。その女性たちの結果と言っても過言ではないと思うんです。コロナ過でまともにコロナの影響を受けて、例会も開けない、活動もできないと言って、日本34地区の中で32地区が全部減少してたんですが、唯一二つの地区だけが増強に成功してたんです。その二つの地区の一つが私たちのこの2530地区なんです。これいつも石黒パストガバナーは自慢されます。皆さん、もう一度この底力を信じて行動を起こしていただきたいと思います。ここで富岡ロータリークラブを紹介したいところなんですけれども、時間の都合上このまま進めていまして最後にですね、この富岡の増強の成功のポイントというか、その年の会長のコメントを最後に紹介したいと思います。会長として会員増強具体事例というワポの最終ページなんですけれども、会員増強に取り組むうちにわかったこと。楽しくないと続かない。そして、押しつけ感やノルマ感はNG。入会者がいると飲み会が盛り上がる。これって富岡って12か月12回毎月会員増強委員会、飲み会やってたんです。なので、入会者が入るとまた盛り上がるんです。更に盛り上がる。リストを作って50名のリストが出来上がりました。4番目、数打ちゃ当たる、ここはちょっと失礼なんですけど50名までリストを作って、結果14名の増強ということになりました。会員50名達成したらいいねとずっと会長言い続けました。これ言い続ける事が大切です。言い続けていたら皆がだんだんその気になってくれました。これが会長のコメントなんですけど、この年の会長幹事を始めとして即行動を起こしたクラブ会員全員の成果だと感じております。会員増強やるかやらないか、でも楽しくないとやり続けることができませんので、皆さんお一人お一人がロータリーを楽しんでいただきたいと思います。ごめんなさい、最後にこれ大変失礼なんですけど私エールをちょっと作ってきました。次年度ガバナーを輩出されるクラブの皆様へ。そして、ガバナーエレクト金田昇様へ。この度のご就任心よりお祝いを申し上げます。皆様のクラブが築いてこられた信頼と実績が次年度の地区運営に大きな力となることを確信しております。輝かしい一年を築かれますように心よりエールをお送りいたします。ロータリーをもっと素敵な場所にしていきましょう。ご健闘とご活躍をお祈り申し上げます。ご清聴ありがとうございました。

●藤田龍文会長

本日は西山様、大変為になるお話ありがとうございました。当クラブ72名スタートですね、まだ女性比率12%ということで、まだまだ上げていかなくちゃいけないというのは十分認識してはるんですが、先程講演の最後のほうにありましたように当クラブはやはりこの72名という人数ですが、本当にこう先輩方も優しく接してくれるという、本当にフランクな良いクラブだと思っておりますし、楽しいというのが沢山あります。ただやはり飲み会もそうですね、少なくはないですし、まあ学校で行ったらサークル活動とか愛好会も異常なくらいに活動してますので、そういったところも懇親会は他クラブから比べたら相当多いと思いますが、そういったところがこう若い人たちが惹きつけられるとか抜けられないとか退会しないというような理由かもしれませんが、あと理事会の比率ですと、今年はちょっと意識して女性の理事のメンバーを多くしましたので30パーセントは女性ということで、理事のほうの決定機関には3割以上は女性ということですので、今年度終わるまでにはですね、今年目標は渡辺委員長もどうしても80人入れさせてくれとかいうことですので、渡辺委員長息を飲んでですね、私もその80人目指してそのうちの女性は3割以上は女性ということで、本日もですね入会希望の方がいらしていただきましたので、ネームプレートも準備した方がいいかもしれません。楽しいです是非ですね、お迎えして年度末には、目標達成したいと思います。大変為になるお話、ありがとうございました。これ白河の銘品詰め合わせでございます。ご賞味ください。



●「大竹運送株式会社」

大竹佑花理様



白河西ロータリー、ロータリアンの皆様、こんばんは。矢吹町にある「大竹運送」の大竹と申します。わたくしはこのような内容だとはわからず、ちょっと留学生だったということでお招きいただいて、久しぶりにロータリーの席に参加させていただきました。留学した時の話をちょっとさせていただきたいんですが、30年前1994-1995年の時代にわたくしは白河西ロータリークラブの交換留学生としてアメリカのコロラド州デンバーから北西の約50キロにありますロングモントという町にいました。そこでロングモントもロータリーの方々大変お世話になりました。白河西ロータリークラブの皆さんからこんなに沢山のピンバッジを持たされ、会う会員様と当時のロータリーの

留学生だったという方々にピンバッチを配って、白河はどこにあるの。西ロータリーはどんなクラブなのっていう質問をもうあちこちからされて、一生懸命アメリカで福島県白河市西ロータリークラブをPRしてきました。当時16歳だったんですけども、結構ロータリーでアメリカ行ってきなって感じだったんですけど、正直誰も付いてきてくれず成田空港から一回目ロサンゼルスに行ったんです。そこで私どうしたらいいかわかんなくてトランジットをした時にちょっとこれからデンバーに行かなくちゃならないのにどうしようって思ってドキドキしてたら、デンバーに行く老夫婦がいて一緒に行きましょうということでやっとならコロラド州に着いたということで、ドキドキした経験がありました。デンバーに着いたら、家族がロータリアンが沢山待っていてくれました。もうよくあるこういう紙で、佑花理佑花理っていう感じでお出迎えをさせていただいて、とても歓迎ムードで出ました。コロラド州のロングモントという所は標高1500メートルありまして、当時1週間ぐらいいはずと鼻血が止まらず、もうまた鼻血、また鼻血というくらい多分酸素も薄かったんですけど、近くにCUというコロラド大学がありまして、そこにちょうど鈴木大地さんとか有森裕子さんたちがスポーツのちょっとした留学という形で、標高が高くて酸素も薄いので勉強しに来ていたという所でした。ロングモントロータリーの方々はとっても優しく大体50名ぐらいいました、当時は。ランチミーティングは大体教会で毎週やって、どんな用事があってもそれだけは絶対来てくださいというお約束の上、毎月100ドルをいただいてこれで好きなものを買ってというふうにしてました。ホストファミリーさんは本当は3か月に1回順々に交換してくれるんですが、初め3か月ホストファミリーさんの子供の家にいる所にステイしました。次に、大学生のお兄さん、お姉さんがいる所にステイして、そこでちょっと気が合ったので、ずっとそれから一年間いさせていただきました。当時は私が行った頃は、日本で大変な事件が起きていた頃です。実は私が行って半年ぐらいた時に阪神淡路大震災が起きました。ちょっとニュースで見た時にちょっとショックで帰りたと思ったんですけども、「佑花理、ごめん。お前はまだ帰れないよ。」という形で言われて、ちょっとホームシックに罹ったこともありまして。日本のニュースが当時はインターネットとかスマホがなかった時代なので、どんな様子かがわからなかったんですけど、家に電話したら福島は大丈夫というふうにお父さんとお母さんが言ってくれて、あなたはそこにいなさいというふうに言われて帰ってくる必要はない、ロータリーさんメンバーに迷惑かけちゃうんでということで、じゃあそのまま居させていただいて、その後3月ぐらいいに地下鉄サリン事件が起きたという劇的な時代に、ちょっとそんな大事な事件が起きたのに日本にいれずという時の時代でした。かれこれ30年ぐらいい経ちましたが、今ホストファミリーさんともやり取りをしています。ロングモントロータリークラブの方のフェイスブックもフォローして活動内容を見えています。そういう事も含め一生懸命実は白河西ロータリークラブをPRしてきた中の一人というこ

とで、楽しみながらも結構頑張ってる営業をしてきましたということなんです。帰ってからもこのロータリークラブの方に大歓迎をさせていただいて、どうだったどうだったということで、本当によくしていただいたという経験があり、今こうしてその経験を生かして頑張ってる仕事をしているところです。今日はちょっとゲストという形で、大変申し訳ないんですけど私もちょっと子育てと介護とちょっとダブルできちゃってる時期なので、もうちょっとしたら50半ばぐらいいとか、まあもうすぐなんですけどもう数年先なんですけどそのくらいちょっと生活が落ち着くようになったら是非皆さんとご一緒させていただければと思っております。今日はこういったお時間いただきまして、どうもありがとうございます。

●吉野敬之SAA

ありがとうございます。実はわたくし地区の会員増強委員会というところに出向しております、皆さんご存じないかもしれませんが、西山委員長のもとわたくしも小委員長を務めさせていただいております。知らなかったでしょう。結構働く所で働いております。その中で、会員増強のほうをやっていると、多分会員増強やる時にご自分が良さを伝えるために今まで知らなかった自分のクラブの良さを学んだり、そうした経験の中で自分のスキルがアップしていくと自分も楽しくなる。そうすると、さっき西山委員長も言ったようにじゃあ人を堂々と誘える。これで大丈夫かなじゃなくて、入ったら楽しいよというのは堂々と言える。そうすると、結果的に入る方がじゃあ信用して入ってみようかなって、いかんせん騙されて入る人もいますけど。大体の方は一生懸命、あの人だったら大丈夫かなと思って入ってるというふうなことがあると思うので、皆さん今日は貴重なお話を聞いていただきましたので、多分渡辺委員長一人ではどうにもなりません。やっぱり全員の方がアンテナを立てていただいて、活動していただく、行動していただく、また情報をいただく、それが一つ一つが会員増強に繋がっていくと思います。私も80名はいかないんじゃないと言ったんですけど、渡辺委員長どうしても80名と言うので、なんともね、してあげないといけなかなと思いますので、皆さんのご協力よろしく願います。